

巻 頭 言

公益財団法人北海道脳神経疾患研究所 理事長 中 村 博 彦

北海道脳神経疾患研究所医誌（脳研医誌）第21巻をやっと刊行することができました。関係者をはじめ常日頃よりご支援をいただいている皆様方のご厚情の賜物と深く感謝申し上げます。昨年の巻頭言で次年度からは活を入れて編集に取り組みたいと書いたばかりなのに、刊行が大変遅くなりまして申し訳ございません。私の原稿の遅れが責任の全てなのですが、脳神経外科専門医の実態調査としては、貴重な資料になると思いますのでご容赦下さい。発刊後別刷りを関係者にお配りして、脳神経外科専門医の実情をご理解いただき、専門医制度改革に向けて、日夜一生懸命診療に携わっている多くの脳神経外科専門医の福音になればと期待しています。

今回の目玉は昨年に引き続きまして、阿部弘北海道大学名誉教授の「北海道の脳神経外科の歴史」（その2）完結編です。第20号では北海道大学と札幌医科大学脳神経外科の歴史をご紹介していただきましたが、大変評判を呼んで、脳研医誌始まって以来の大增刷となりました。諸先生方の顔写真を集めるのに随分ご苦労されたと思いますが、そこは阿部先生ならではの剛腕で顔写真を各方面から収集し、歴史に残る素晴らしい記録集となりました。今回はその続編ですが、旭川医科大学と中村記念病院ならびにA項施設について詳細に解説していただきました。諸先生方の若い頃のお写真を良くぞここまで集め

られたと、改めて北海道の脳神経外科の泰斗である阿部弘先生の偉大さを実感しています。同一人物でも当時の年齢に合わせて写真を変えているところにご注目下さい。中村記念病院の歴史も詳細に記述していただき評価いただきましたことは、当院の医師や同門会のOBの先生方の大きな励みになります。

私が中村記念病院の院長ならびに北海道脳神経疾患研究所所長を拝命して、この3月で丁度15年になります。人はそれぞれ与えられた天命がありますから、自分は中村記念病院あるいは北海道の脳神経外科の歴史の中で、どういう役回りを演じることになるのかなと常々自問自答してきました。恐らく自分にしか出来なかったであろうことが今年は三つ重なりました。その一つが阿部弘先生のご尽力により「北海道の脳神経外科の歴史」が脳研医誌で晴れて文章として完結したことです。これで文字通り、北海道脳神経疾患研究所が道所轄の公益財団法人として相応しい仕事をしていると世間に認知されます。

二つ目は北海道脳腫瘍懇話会の新たな発展です。平成8年に札幌に戻りましたが、当時は地方会でも澤村豊先生一人が気を吐いているだけで、脳血管障害に比べて寂しい状況でした。北海道でもneurooncologyを盛り上げなければと思い、阿部弘先生と高倉公朋先生に顧問になっていただき、阿部先生から先ずは懇話会からというこ

とで「北海道脳腫瘍懇話会」を立ち上げました。昨年で15回を数えますが、脳腫瘍における国内の第一人者をお呼びすることが出来て、当院も含め、北海道全体の脳腫瘍の診療レベルがその間に随分向上したと思います。私自身は病院管理者としての仕事が増えてきたため、この度札幌医科大学の三國信啓教授に今後の懇話会の運営をお願いいたしました。旭川医大には鎌田恭輔先生が着任しましたので、今後益々北海道のneurooncologyが盛り上がるのではないかと期待しています。

三つ目はこの4月で先代の借金を完済することです。院長になった当時はまだ債務超過の状態です。折からの医療制度改革が始まりどうしようかと心配しましたが、「案ずるより産むが早し」で正式なICUを創設し、障害者病棟を立ち上げ、南病院開設、亜急性病床の創設、NASVA委託病床の受託など、矢継ぎ早に対応していたら、在院日数も当初の46日から現在は17-18日に短縮され、何とか綱渡りの状態で生き延びてまいりました。一生懸命知恵を絞って必死に動けば何とかなるものです。私のような者でも厚生労働

省に乗り込んで説得したら、当時の医療課長に各都道府県の厚生局に通達を出していただいたり、医科点数表の解釈の中身を変えたりすることが出来たのです。もちろん経営を改善したところで、医師や一般の方々に馬鹿にされることはあっても褒められることはない損な役回りですが、それが私の責務であるので仕方ありません。お金は天下の回りもので、借金は借りるもので返すものではないと今になってつくづく思い知らされますが、誰かが本気で経営の心配をしないと、今日のヨーロッパや日本のような財政状況に陥ってしまいます。

自分に課せられた問題を克服しても次の難題が直ぐに迫って来ますので、この4月からは、見習い院長から本格的な院長として新たにスタートしようと意気込んでいます。当院の若手も育ってきましたので、若い方の力をお借りして中村記念病院ならびに北海道脳神経疾患研究所が更に飛躍することを目論んでいます。皆様方に於かれましてはこれからもご指導ご鞭撻の程を宜しくお願い申し上げます。